

事業番号	14 09 02	事業改善シート（24年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	体育教科研究費			担当課	部局	教育委員会事務局
<参考> 総合5か年計画	プロジェクト			課・室	スポーツ課	
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実		E-mail	sports-ka@pref.nagano.lg.jp	
		3 豊かな心と健やかな身体の育成		実施期間	S62～ ～	

1 事業の概要

目指す姿	体育・保健体育科教育、学校体育経営等に関する指導理論や専門的技能に係る研修会や協議会を開催し、体育指導者の資質向上を目指す。		
現状	○教員研修センター主催の子どもの体力養成指導者養成研修の伝達研修や外部講師による最新の指導方法の習得、実技指導を取り入れた実践的な研修に努めている。		
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()	【左記の説明、根拠法令等】 ・学校教育法、教育公務員特例法、スポーツ基本法	

事業内容	① 成果目標(H24)						
	・子どもの体力向上研修会(中央研修)に8名が参加し、その後、県で講習会を開催。さらには、郡市で伝達講習を行い、のべ600名の教員に実技指導法を伝達する。 ・本県の学校体育・スポーツの一層の充実を図るため、小・中・高校の体育主任を対象に研究協議会を6回にわたり開催。600名の参加を目指す。						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H24事業実績	H24 (当初)	H24 (決算)	H25 (当初)
		子どもの体力向上指導者研修	直接	子どもの体力向上指導者研修(中央研修への参加)及び郡市講習会の開催	359	203	830
	小中高等学校体育・スポーツ研究協議会	直接	小中高等学校体育・スポーツ研究協議会の実施(講師:大学講師1名、アスレティックトレーナー1名・参加者:627人)	1,006	1,020	940	
			合計	1,365	1,223	1,770	

事業コスト	区	分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25年度	成果目標の達成状況					
	予算額	前年度繰越					項目	現況(見込)	H24			H25 目標
		当初予算	1,834	1,439	1,365	1,770			目標	成果	達成状況	
		補正予算					子どもの体力向上指導者郡市講習会参加者数	600名	600名	628名	達成	620名
		合計(A)	1,834	1,439	1,365	1,770	小中高等学校体育・スポーツ研究協議会参加者数	600名	600名	627名	達成	634名
	Aの財源	国庫支出金										
		県債										
		その他()										
		一般財源	1,834	1,439	1,365	1,770						
	ト	決算額(B)	636	924	1,223							
概算人件費	職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00							
	概算人件費(C)	16,634	16,516	16,516	16,516							
	概算事業費(B(A)+C)	17,270	17,440	17,739	18,286							

目標に対する成果の状況	○子どもの体力向上指導者の中央研修会に8名参加し、研修内容を郡市代表の教員に対して伝達することができた。郡市においては伝達を受けた教員により指導力向上の研修会を628名の参加を得て開催できた。 ○小中高等学校体育・スポーツ研究協議会を6会場で開催し627名の体育主任が参加した。体力向上や学校安全にかかわって講演、演習、実技研修等を実施し指導力の向上に役立てていただいた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか。	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ○体力向上にかかわって、教員の指導力向上につながる重要な事業となっている。今後も継続する中で、体育・保健体育科を取り巻く課題の解決に向けて取り組んでいきたい。
---------------------	--